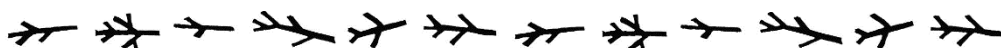


本校では、今年度より東京都教育委員会の委託を受けて、「学びをつなげ 深め 広げる児童の育成—SDG s の視点に立った主体的・対話的で深い学びを通して—」という研究主題で校内研究を進めています。本研究のサブテーマにある SDG s (Sustainable Development Goals) とは、2015 年の国連サミットで採択された 17 の目標と 169 のターゲットからなる「持続可能な開発目標」です。2030 年を年限とし、「つくる責任 つかう責任」「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」などの目標があります。この SDG s のポスターは各教室に掲示され、色別に示された 17 の目標は五本木小学校の子供たちにとって身近なものとなりつつあります。

五本木小学校は、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点として位置付けられている区内で唯一のユネスコスクールです。私たちは、その経験と蓄積を生かしながら、SDG s の視点を盛り込んだ授業改善を通して、新学習指導要領にも示された「持続可能な社会の創り手」を育成するというまったなしの今日的課題に取り組んでいるところです。

本号で紹介されているような日々の実践を土台として、11月の学習発表会、1月の研究発表会でもユネスコスクールらしい成果が発表できればと準備を進めています。どうぞご期待ください。

副校長 衣非 まさ子



6 年 総合的な学習の時間

「つながりで守る私たちの町・私たちの命」

近年、豪雨、洪水、竜巻など異常気象が次々と観測され、自然災害への取り組みは国や自治体だけではなく各家庭においても不可欠となってきました。また、都内においてはいつ起きてもおかしくないと言われている巨大地震の発生が考えられ、予測されているようで、確実な時期を示すことはできないことから、日々の備えが重要になっています。そこで、総合的な学習の時間では、自然災害から命やくらしを守るために自分たちができることを考える「つながりで守る私たちの町・私たちの命」に取り組んでいます。この学習は、SDGs の「11 住み続けられるまちづくりを」の目標に関連しています。目標 11 は、私たちが直接参加かつ挑戦していきやすい身近な目標となっており、問題を自分事として解決していく糸口を見つけ、私たちの未来を創り出していく大きな一歩としたいと考えています。「自分や大切な人の命」を守れるように、課題の設定から情報収集、整理・分析、まとめ表現という学習を繰り返す中で、将来「地域の防災リーダー」として活動できるための資質や能力を育てていきたいと考えています。

